

北 澤 技 師 通 信

拝復 御書面拝見致しました。

皆様にもお変わりなくお過ごしの御様子何よりと存じます。

こちらは毎朝零下 2~4 度位の気温ですが、日中は相変わらず快晴が続いて居りますので安外しのぎ良く、元気に養成所に通って居ります。先週沼津の富士製作所へ行って参りました。丁度札幌の内齊支店長が居られ特に石神経営部長からはいろいろと氏特有の技術面の御意見を伺って参りました。富士を訪れ、未だ初対面の挨拶もろくに交さない内に、この部長は紙とエン筆を持って来て、歯型の説明やら、切削に関する問題を論じられ、約一時間してそれが済むと工場へ案内して、三年程山において誰も引取手がなくて営林署で困っていたとやら言う縦の角材（幅 1 尺）を送材車にのせ、自らハンドルを握って 24G の鋸で挽いて見せました。これがどうも氏の珍客？に対する可成りのもてなし法かとも判じましたが、

富士の工場は昨年御覧になって居られるので御承知のことと存じますが、ついている鋸の歯型は全部例の奴でこれも石神部長自慢の種のように見受けられました。ワイダー（アサリ揃え機）については正月帰所の折一寸申し上げましたが、只今、田中と浜田の両会社協同で、最も使用しやすいものを作って居ります。機構の概要丈けを申し上げますと、重さは片手で自由に持て使用するときには製材機のテーブルに取付け、その前に掛けた鋸を挟めて手で鋸を回転させると、はさめられて歯先の当る部分にヤスリがついていてそれアサリを同一幅に揃えると言う至極簡単な代物です。

未だ完全なものでなく、うっかり使とアサリを全部落すこともあり、又挽肌は成程良好ですが、切れ味が悪くなり、鋸の使用時間が減る等の欠点があり、今両社で検討中です。

（養成所できどき試験中）従って目立機に直接付属せず、単独で使用出来ると言うのがミソで、完成後の価格も一万円前後と推定されます。

次ハンマー・テンションゲージは本日価格を問い合わせましたから近い内返事があると思います（田中機械 帯鋸につきましては、本日講師に伺ったところによりますと、大体 3,000~3,500（アツサブでは 2 割高）位とのことですがはっきりしたところはわからず、丸源等の国産品は市内の養成所特約店に、アツサブは天竜

製鋸に問合せました。数量は 3~4 本位との話ですが予算の関係で何れも結構です。若し 4 本買えば、内二本は当地で（県内の方々で実験するのが慣のようです）各自作って試験挽するのに使い、他の二本の内一本は御申越の本機用、他の二本をワンマン用にしたいとも考えています。従って若し四本購入可能でしたら
アツサブ 5吋1本 4吋1本（22G・25G）

丸源 5吋~4吋 2本（22G 25G）としたいと思

います。
養成所への納入金と言うのは別に定められておりませんので、或は丸鋸（先日購入したもの）1本及び只今申し上げた試験挽用の 2本を置いて行くことも考えられます。

従って今後の予算上考えられる費用は

ハンマー、ゲージ類（2組）3,000~4,000円

鋸（4尺として）12,000~14,000円

見積写到着次第すぐお送り致します。

待望？の凍結材試験季節になりましたが、今年は比較的暖い由、北海道も毎年のように凍結材の試験をしたくとも適当な凍結材がない程暖かければ良いと思わずにはいられません。こちらの様にほんのパラパラと小雪が降っただけで大騒ぎする当地に来ていますとあのこちこちに凍る旭川の状況がまるでうそのようにさえ感ぜられます。

教務の方は相変わらず腰入の練習です。丸鋸も 1日1時間位宛はやっていますが、余り欲ばってあぶはちとらずにならないよう。少くとも帯鋸はものにしたいと思っています。大分とりとめもなくおしゃべりしましたが、今日はこれで失礼させていただきます。厳寒の折御尊体御大切に

研究室はじめ所の皆様様は何卒よろしく

敬具

1月19日

12、1月の2ヶ月もどうやら無事通過してよいよ本腰を入れて勉強しなければならない2月にたどりつきまし。

静岡でも梅の花も間もなく散り、桜のつぼみがふくらみかけようとしています。旭川近辺はさぞ寒い毎日が続いていることと御遠察申し上げます。

現在の教務内容は相変わらずの腰入れと目立機の構造操作、れそに製材実習が繰り返されています。腰入れ

は既に一月以上もやっていますが、未だ仲々うまくいかず。特に継手のところ最も難しく、あの平な鋸をどうし位によいもうなぐにやぐにやにしていまいは切ってしまうか何処かえ投げは捨てしまい度いような気にさえなりますが、先生の曰く薄鋸で（小生の今の教材は23G）この継手さえ出来れば9分通り完成したと同じだから是非自分でものにするようにと励まされ一生懸命努力しています。

継手の部分は只今申し上げたようにまだまだ自信を得るところまでは参りませんが、他の部分はどうかや時間をかけてやればものになりそうなどころまで参りましたからこの調子で更にガンバリたいと思っています。

目立機の調節は現在秋木の板カム式を練習しています。最も構造の簡単な式のものから始めたわけですがこの練習法と言うのは、初め構造操作法等の講義を聞き、次いで各人一人一人出て全部調子を狂わしてある機械を順に合せて最後に掛っている鋸に完全に合わせるまでをタイムをとって競争するわけです。はじめは、見ていると簡単に出来そうなのがいざ機械に向った途端順序がこんがらかって、更に大勢から見られていることと時間が気になってすっかり上ってしまい一時間もかかってやっと合せたなどという者ありますが、昨日、今日になって来ますと、遅いもので10分、早い者は2、3分で調整出来るようになりました。

今新しい目立機の据付工事の基礎コンクリートを施しましたが、その際一人もコンクリート練りの経験者が居らず皆で思案していましたので、小生嘗って乾燥室の前のレール基礎をやったときの体験で、ワク作りから練り方まで殆んど1人でし、もち論皆んな手伝っただってもらいやり終せ大いに面目を施しました次第何でもやっておくと何時かは役に立つものとしみじみ感じました。

ところで先口御書面頂きました帯鋸及び道具の見積書お送りします。この間概略の御返事申し上げた直後「所」よりグラインダーの購入もしてほしい由で、見積書と現品同封に受取りましたので同封します。この内帯鋸の4'×25Gを希望しましたが在庫なく、4'×25Gのアツサブに致しました。アツサブを選んだ理由は先生の言により「アツサブは初めの仕上げが他の国産より難しく練習になり、後は歯持ちがよい」とのためからです。尚あとの一本は後程御連絡を頂いてか購入致します。尚予算上必要な経費としましては今後は殆んどないものと存じますが万一の用意に原材料若しくは消耗品で2、3千円程度見込んでおいていただければ幸甚です。

更に来年度の予算で若し目立養成の開始されること及び其の他の研究上必要と予想され気のつきました品目を申し上げますと。

1. アサリ調整機 (10,000~12,000) 1 研究用

1. スコヤ 1

1. 丸鋸腰入台 1

1. 丸鋸腰入道具 1式 (天竜製鋸より購入可能)

其の他若干ありますが、大きな問題として養成室（目立実習室）は可及的一般の目立室（現在目立室）とは切離すことが大事なように思います。そしてもしそれが実現されましたら腰入機の位置と光線との関係を特に御考慮願います。今までは只人のやるのを見ておつたのみで何もわかりませんでした。幾分なり入門してみても初めて室の問題、目立機、腰入機の具合、光線の方向の重要性等が気になって参りました。そして如何に優秀な目立士でも悪い光線のもとでは立派な鋸を作ることは難しいと言うことも成程とうなづかされました。

大分潜越なことを申し上げ恐縮ですが以上感じたままを素直に申し上げました次第何卒悪しからず御評読の程お願いします。

今期は製材実習が可成り多く、加えて人員が多いため何時もより幾分遅れ気味なのですが、今月の末か来月の初めからは新鋸にかかれるものと思います。

次長、部長には御無沙汰致して居りますが、課長より何分よろしくお伝え願います。

乱筆多謝

時節柄御尊体御大切に

敬具

二月二日

一昨日、丹羽さんが養成所に見えましたので、しばらくの間でしたが、そちらの様子など伺うことが出来ました。

寒いところ方々に指導にお出掛けの由、まことに御苦勞様に存じます。ちらに参り長期勉強させて頂けることは本当に有難く感謝して居りますが、一人で遠方を馳せ回れたり凍結材の試などなさっておいの事と思ひますと何となく申しわけないような感じが致します。

さてその後の勉強も逐次進み、現在のところ各商社（5社）の目立機のもど扱い方うやら覚え、毎日腰入れ、自動摺り、打出アサリ等の操作を繰り返し、来週からは、スエーチ、スエーチシェパーの構造の説明操作更に実務と言う順に進み、この分ですと今月中には旧鋸によ程をる全課終了、来月からはいよいよ待望の新鋸仕上げという段階に入れそうです。

先月も申し上げましたが、前回までと異り、今回まで製材技術と言う課目が増えましたので、予定では今月初旬から新鋸の仕上げにかかり、約4ヶ月（新鋸だけで）とあとは工場へ帰っても一人でやれる腕前位にはなるそうですが若干遅れている模様です。

今年の4月の学会にはお出になりましょうか、学会東京で開催され、御出席なるようでしたらそのときにもお伴させて戴いたとも存じますが、実は先日部長にも申し上げておいたのですが、3月中旬長野県の辰野（中央線）に出来た鋸目立養成所、4月初旬に浜松の天竜製鋸及び名古屋のグラインダー工場（新製品製作中）を見学致したいと存じて居ります。但し丁度年度末のことではあり、4月と言っても30年度令達前と存じますので早目とは思いましたが、御許可いただけるかどうかお伺い申し上げます。来週の日曜には大井製作所及びその養成所を見学致して参りたいと思っております。

それからアサリを齊一にするワイダーなる機械、只今養成所で試験中ですが、4月頃から市販、価格は20,000円位になるそうです。

何時もどうも注文許り多くて恐縮ですが、折を見て御返報の程お願い申し上げます。

留守中家族も何かとお世話になることも多いかと存じますが、何分宜しくお願い申し上げます。

当地は幾分暖かになって参ったようですが、その代り名物とかの突っ風が一層激しくなり、砂とほこりで歩くに困難なことさえあります。その為か最近風邪が可成りひどく休校の小、中学校が若干出て参りました

2月もまだまだ寒さも厳しいことと存じます。御身边には一層御留意の程申し上げます。

先ずは近況少々お伺いまで 敬具

2月11日

御書面拝見致しました。

各地方への指導出張、月報原稿の作成、林学会発表資料のとりまとめ或は又30年度の予算編成とあとからあとから沢山の仕事に追われておいでになる御様子、本当に御苦労様に存じます。

次長、部長はじめ全所員の皆様も、この年度末、更に選挙と云う微妙な空気の中でさぞ心を痛めて居られることと存じます。

20日頃、当地も可成りの強風と寒波に襲われましたが、新聞、ラジオによりますと北海道は更ものすごい暴風雪とのことでしたが、役所其の他に異状はありませんでしたでしょうか。

勉強の方は先日も申し上げましたように、本日で基礎課程も終り、来週から実用鋸にかゝることになりま

した。初め22Gからと思いましたが、ピッチ、テンション、バック等お伺い致して居りませんでしたので取敢えず24Gを手掛け度いと存じますが、22Gも20日過ぎにはやろうと思えます故、各条件の御所望のものもありませんでしたらお知らせ願えませんか。

本日までのところ、腰入、バックは時間をかけさえすればどうやら曲りなりにも希望したものになりそうですが、アサリ出しの方は、スウェーヂ、スウェーヂスーパーが古く今まで可成り無茶をしたらしく完全な調節も出来ませんが、それを除いても大分操作が難しく、折角うまく行ったと思っていると先端を折ったりじ潰したりすることがあります。若し備品の予算に余有がありますようでしたら、次の品購入したいと存じますが如何でしょうか。

1.丸鋸 ゲージ及ハンマー1式

1.スウェーヂ 2分ノ1 1分5厘1 (アンビル各1本、ダイス各3本予備)

1.スウェーヂスーパー

近い内にシリーズも発かんされる由ですが、この次の目立のときは当地に於ける勉強、帰ってからの実習等を参考にして、少しでも課長の御意志に副い度いものと心掛けガンバって行きたいと思っております。養成所出身者当地に於いては可成り重要視され、卒業して直に或は半年程度の習練で一線活躍しているようです。小生等では到底後数年は指導不可能と存じますが指導所に斯る施設が出来、普通なら5年もかかるころを僅か半年か2年で一人前の目立工に仕上げるのでしたら斯界のためにも非常に大きな貢献をするころでしょう。

2週間程から骨が痛んで、特に夜床に入ってから寝返りが出来なくて困ります。

未だ々々努力が足ず、もう少しガンバれば他は全々異状なく、今までの他県から来た連中の汚名？は完全にふきとばしてやりたいものと考えております。

先日の嵐以来、こちらは大変暖かな日が続いて、北海道の皆様にはすまないように感ずることもあります。

御多忙とは言え御体丈は御注意下さい。

新鋸が出来ましたら又御報告致します。 敬具

2月26日

拝復 御書面拝見致しました。

皆様にもお変わりなくお越しの御様子何よりと存じます。

こちらは毎朝零下 2~4 度位の気温ですが、日中は相変わらず快晴が続いて居りますので案外しのぎ良く、元気に養成所に通って居ります。先週沼津の富士製作所へ行って参りました。丁度札幌の内齊支店長が居られ特に石神経営部長からはいろいろと氏特有の技術面の御意見を伺って参りました。富士を訪れ、未だ初対面の挨拶もろくに交わさない内に、この部長は紙とエン筆を持って来て、歯型の説明やら、切削に関する問題を論じられ、約一時間してそれが済むと工場へ案内して、三年程山において誰も引き取手がなくて営業署で困っていたとやら言う縦の角材（幅 1 尺）を送材車にのせ、自らハンドルを握って 24G の鋸で挽いて見せました。これがどうも氏の珍客？に対する可成りのもてなし法かとも判じましたが、

富士の工場は昨年御覧になって居られるので御承知のことと存じますが、ついでに鋸の歯型は全部例の奴でこれも石神部長自慢の種のように見受けられました。ワイド（アサリ揃え機）については正月帰所の折一寸申し上げましたが、只今、田中と浜田の両会社協同で、最も使用しやすいものを作って居ります。機構の概要だけを申し上げますと、重さは片手で自由に持て使用するときには製材機のテーブルに取付け、その前に掛けた鋸を挟めて手で鋸を回転させると、はさめられて歯先の当る部分にヤスリがついていてそれでアサリを同一幅に揃えると言う至極簡単な代物です。

未だ完全なものでなく、うっかり使うとアサリを全部落すこともあり、又挽肌は成程良好ですが、切れ味が悪くなり、鋸の使用時間が減る等の欠点があり、今両社で検討中です。（養成所できどき試験中）従って目立機に直接付属せず、単独で使用出来ると言うのがミソで、完成後の価格も一万円前後と推定されます。

次ハンマー・テンションゲージは本日価格を問い合わせましたから近い内返事があると思います。（田中機械）

帯鋸につきましては、本日講師に伺ったところによりますと、大体 3,000~3,500（アツサブでは 2 割高）位とのことですがはっきりしたところはわからず、丸源等の国産品は市内の養成所特約店に、アツサブは天竜製鋸に問い合わせました。数量は 3~4 本位との話ですが予算の関係で何れも結構です。若し 4 本買えれば、内二本は当地で（県内の方々で実験するのが慣のようです）各自作って試験挽するのに使い、他の二本の内一本は御申越の本機用、他の二本をワンマン用にしたいとも考えています。従って若し四本購入可能でしたら

アツサブ 5 インチ 1 本 4 インチ 1 本（22G・25G）

丸源 5 インチ~4 インチ 2 本（22G・25G）としたいと思います。

養成所への納入金と言うのは別に定められておりませんので、或は丸鋸（先日購入したもの）1 本及び只今申し上げた試験挽用の 2 本を置いて行くことも考えられます。

従って今後の予算上考えられる費用は

ハンマー、ゲージ類（2 組）3,000~4,000 円

鋸（4 尺として）12,000~14,000 円

見積書到着次第すぐお送り致します。

待望？の凍結材試験季節になりましたが、今年は比較的暖かい由、北海道も毎年のように凍結材の試験をしたくとも適当な凍結材がない程暖かければ良いと思わずにはいられません。こちらのようにほんのパラパラと小雪が降っただけで大騒ぎする当地に来ていますとあのこちこちに凍る旭川の状況がまるでうそのようにさえ感ぜられます。

教務の方は相変わらず腰入れの練習です。丸鋸も 1 日 1 時間位宛はやっていますが、余り欲ばってあぶはちとらずにならないよう。少なくとも帯鋸はものにしたいと思っています。大分とりとめもなくおしゃべりしましたが、今日はこれで失礼させていただきます。厳寒の折御尊体御大切に

研究室はじめ所の皆様は何卒よろしく

敬具

12、1月の2ヶ月もどうやら無事通過してよいよ本腰を入れて勉強しなければならない2月にたどりつきました。

静岡でも梅の花も間もなく散り、桜のつぼみがふくらみかけようとしています、旭川近辺はさぞ寒い毎日が続いていることと御遠察申し上げます。

現在の教務内容は相変わらずの腰入れと目立機の構造操作、それに製材実習が繰り返されています。腰入れ

は既に一ヶ月以上もやっています、未だ仲々うまくいかず。特に継手のところ最も難しく、あの平らな鋸をどうしようもない位にくにやぐにやにしまいには切ってしまうか何処かへ投げは捨ててしまいたいような気にさえなりますが、先生の曰く薄鋸で（小生の今の教材は23G）この継手さえ出来れば9分通り完成したと同じだから是非自分でものにするようにと励まされ一生懸命努力しています。

継手の部分は只今申し上げたようにまだまだ自信を得るところまでは参りませんが、他の部分はどうやら時間をかけてやればものになりそうなどころまで参りましたからこの調子で更にガンバリたいとおもっています。

目立機の調節は現在秋木の板カム式を練習しています。最も構造の簡単な式のものから始めたわけですがこの練習法と言うのは、初め構造操作法等の講義を聞き、次いで各人一人一人出て全部調子を狂わしてある機械を順に合わせて最後に掛っている鋸に完全に合わせるまでをタイムをとって競争するわけです。はじめは、見ていると簡単に出来そうなのがいざ機械に向った途端順序がこんがらがって、更に大勢から見られていることと時間が気になってすっかり上がってしまい一時間もかかってやっと合わせたなどという者ありますが、昨日、今日になって来ますと、遅いもので10分、早いものは2、3分で調整出来るようになりました。

今新しい目立機の据付工事の基礎コンクリートを施しましたが、その際一人もコンクリート練りの経験者が居らず皆で思索していましたので、小生曾って乾燥室の前のレール基礎をやったときの体験で、ワク作りから練り方まで殆ど一人でし、勿論皆手伝ってもらいやり終せ大いに面目を施しました次第何でもやっておくと何時かは役に立つものとしみじみ感じました。

ところで先日御書面頂きました帯鋸及び道具の見積書お送りします。この間概略の御返事申し上げた直後「所」よりグラインダーの購入もしてほしい由で、見積書と現品同封に受取りましたので同封します。この内帯鋸の4×25Gを希望しましたが在庫なく、4×25Gのアツサブに致しました。アツサブを選んだ理由は先生の言により「アツサブは初めの仕上げが他の国産より難しく練習になり、後は歯持ちがよい」とのためからです。尚あとの一本は後程御連絡を頂いてから購入致します。尚予算上必要な経費としましては今後は殆どないものと存じますが万一の用意に原材料若しくは消耗品で2、3千円程度見込んでおいていただければ幸甚です。

更に来年度の予算で若し目立養成の開き始めること及び其の他の研究上必要と予想され気のつきました品目を申し上げますと。

1.アサリ調整機（10.000～12.000）1 研究用

1.スコヤ 1

1.丸鋸腰入台 1

1.丸鋸腰入道具1式（天竜製鋸より購入可能）

この他若干ありますが、大きな問題として養成室（目立実習室）は可乃的一般の目立室（現在目立室）とは切離することが大事のように思います。そしてもしそれが実現されましたら腰入機の位置と光線との関係を特に御考慮願います。今までは只人のやるのを見ておったのみで何もわかりませんでした。幾分なり入門してみて初めて室の問題、目立機、腰入機の具合、光線の方向の重要性等が気になって参りました。そして如何に優秀な目立士でも悪い光線のもとでは立派な鋸を作ることは難しいと言うことも成程とうなづかされました。

大分潜越なことを申し上げ恐縮ですが以上感じたままを素直に申し上げました次第何卒悪しからず御評読の程お願いします。

今期は製材自習が可成り多く、加えて人員が多いため何時もより幾分遅れ気味ですが、今月の末か来月の初めからは新鋸にかかれるものと思います。

次長、部長には御無沙汰致して居りますが、課長より何分よろしくお伝え願います。

乱筆多謝

時節柄御尊体御大切に

敬具

二月二日

一昨日、丹羽さんが養成所に見えましたので、しばらくの間でしたが、そちらの様子な

ど伺うことが出来ました。

寒いところ方々に指導にお出掛けの由、まことに御苦勞様に存じます。こちらに参り長期勉強させて頂いていることは本当に有難く感謝して居りますが、一人で遠方を馳せ回れたり凍結材の試などなさせて頂いた事と思えますと何となく申し訳ないような感じが致します。

さてその後の勉強も逐次進み、現在のところ各商社(5社)の目立機のもど扱い方や覚え、毎日腰入れ、自動摺り、打出しアサリ等の操作を繰り返し、来週からは、スエージ、スエージシェパーの構造の説明操作更に実務という順に進み、この分ですと今月中には旧鋸による全課程を終了、来月からはいよいよ待望の新鋸仕上げという段階に入れそうです。

先月も申し上げましたが、前回までと異なり、今回まで製材技術と言う課目が増えましたので、予定では今月初旬から新鋸の仕上げにかかり、約 4 ヶ月（新鋸だけで）とあとは工場へ帰っても一人でやれる腕前位にはなるそうですが若干遅れている模様です。

今年の 4 月の学会にはお出になりましょうか、学会東京で開催され、御出席になるようでしたらそのときにでもお伴させて戴いたとも存じますが、実は先日部長にも申し上げておいたのですが、3 月中旬長野県の辰野（中央線）に出来た鋸目立養成所、4 月初旬に浜松の天竜製鋸及び名古屋のグラインダー工場（新製品製作中）を見学致したいと存じて居ります。但し丁度年度末のことではあり、4 月と言っても 30 年度令達前と存じますので早目とは思いましたが、御許可いただけるかどうかお伺い申し上げます。来週の月曜には大井製作所及びその養成所を見学致して参りたいと思っております。

それからアサリを齊一にするワイダーなる機械、只今養成所で試験中ですが、4 月頃から市販、価格は 20.000 円位になるそうです。

何時もどうも注文許り多くて恐縮ですが、折を見て御返報の程お願い申し上げます。

留守中家族も何かとお世話になることも多いかと存じますが、何分宜しくお願い申し上げます。

当地は幾分暖かになって参ったようですが、その代り名物とかの突風が一層激しくなり、砂とほこりで歩くに困難なことさえあります。その為か最近風邪が可成りひどく休校の小、中学校が若干出て参りました。

2 月もまだまだ寒さも厳しいことと存じます。御身边には一層御留意の程申し上げます。

先ずは近況旁々お伺いまで

敬具

2 月 11 日

御書面拝見致しました。

各地方への指導出張、月報原稿の作成、林学会発表資料のとりまとめ或は又 30 年度の予算編成とあとからあとから沢山の仕事に追われておいでになる御様子、本当に御苦労様に存じます。

次長、部長はじめ全所員の皆様も、この年度末、更に選挙と云う微妙な空気の中でさぞ心を痛めて居られることと存じます。

20 日頃、当地も可成りの強風と寒波に襲われましたが、新聞、ラジオによりますと北海道は更にもすごい暴風雪とのことでしたが、役所其の他に異状はありませんでしたでしょうか。

勉強の方は先日も申し上げましたように、本日で基礎課題も終わり、来週から実用鋸にかかることになりました。初め 22G からと思いましたが、ピッチ、テンション、バック等お伺い致して居りませんでしたので取りあえず 24G を手掛けたいと存じますが、22G も 20 日過ぎにはやろうと思っております故、各条件の御所望のものもありましたらお知らせ願えませんか。

本日までのところ、腰入、バックは時間をかけさえすればどうやら曲りなりにも希望したものになりそうですが、アサリ出しの方は、スウェージ、スウェージスーパーが古く今迄可成り無茶をしたらしく完全な調節も出来ませんが、それを除いても大分操作が難しく、折角うまく行ったと思っていると先端を折ったり潰したりすることがあります。若し備品の予算に余裕がありますようでしたら、次の品購入したいと存じますが如何でしょうか。

1. 丸鋸 ゲージ及びハンマー 1 式

1. スウェージ 2 分の 1 1 分 5 厘 1 （アンビル各 1 本、ダイス各 3 本予備）

1. スウェージスーパー

近い内にシリーズも発かんされる由ですが、この次の目立のときは当地に於ける勉強、帰ってからの実習等を参考にして、少しでも課長の御意志に報いたいものと心掛けガンバって行きたいと思っております。養成所出身者当地に於いては可成り重要視され、卒業して直ちに或は半年程度の習練で一線で活躍しているようです。小生等では到底後数年は指導不可能と存じますが指導所に斯る施設が出来、普通なら 5 年もかかるところ僅か半年か 2 年で一人前の目立工に仕上がるのでしたら斯界のためにも非常に大きな貢献をするところでしょう。

2 週間程から骨が痛んで、特に夜床に入ってから寝返りが出来なくて困ります。

未だ々々努力が足らず、もう少しガンバレば他は全然異状なく、今までの他県から来た

連中の汚名？は完全にふきとばしてやりたいものと考えております。

先日の嵐以来、こちらは大変暖かな日が続いて、北海道の皆様にはすまないように感ずることもあります。

ご多忙とは言え御体だけは御注意下さい。

新鋸が出来ましたら又御報告致します。

敬具

2月26日